

# 生活習慣病予防健診(協会けんぽ)・検査項目一覧表

(令和8年4月1日時点)

検査区分	検査項目等	検査目的	一般健診	節目健診	一般健診 (若年層)
医師診察	内科医診察・他覚症状の有無の検査	適確な疾病情報等の把握・結果判定など	●	●	●
問診	既往歴・業務歴・自覚症状の有無の検査	適確な疾病情報等の把握	●	●	●
身体計測	身長・体重・腹囲	肥満度の評価、生活習慣病のリスク評価	●	●	●
	BMI	肥満度の評価、生活習慣病のリスク評価	●	●	●
血圧測定	2回法	虚血性心疾患、脳血管疾患の早期発見など	●	●	●
眼科検査	視力検査	視機能の評価	●	●	●
	眼圧測定	緑内障などの早期発見			
	眼底検査	緑内障・網膜色素変性などの早期発見		●	
聴力検査	オーディオメーター	聴機能の評価	●	●	●
肺機能検査	肺活量等測定	呼吸器の機能評価		●	
尿検査	蛋白	腎臓の機能評価	●	●	●
	潜血	腎臓や尿路の異常の有無	●	●	●
	ウロビリノーゲン	肝臓や腎臓の機能評価			
	尿沈渣	腎臓や尿路の異常の有無		●	
便検査	免疫便潜血反応(2日法)	主に消化管(大腸がん)のスクリーニング	●	●	
血液学検査	白血球数	体の免疫状態、感染症、血液疾患などを評価	●	●	●
	赤血球数	貧血の有無やその種類を診断	●	●	●
	血色素量	貧血の有無や程度を判断	●	●	●
	ハマトクリット	貧血、多血症、脱水症などの症状の診断	●	●	●
	血小板数	出血や血栓症のリスクを評価		●	
	血液像	血液疾患の有無、貧血の原因、感染症の確認など		●	
	MCV・MCH・MCHC	貧血の種類や原因を特定			
腎機能検査	クレアチニン	腎機能の評価	●	●	●
	尿素窒素	腎機能・肝機能の評価			
	eGFR	腎臓の機能評価、慢性腎臓病の重症度判定	●	●	●
脂質検査	総コレステロール	動脈硬化や心血管疾患のリスク評価	●	●	●
	中性脂肪	生活習慣病のリスク評価	●	●	●
	HDL-コレステロール	動脈硬化のリスク評価	●	●	●
	LDL-コレステロール	動脈硬化のリスク評価	●	●	●
肝機能検査	GOT	肝機能の評価	●	●	●
	GPT	肝機能の評価	●	●	●
	γ-GTP	肝機能の評価	●	●	●
	ALP	肝機能、骨の健康、胆管障害に関連する症状の診断	●	●	●
	総蛋白	栄養状態や体の健康状態の把握		●	
	A/G比	肝臓や腎臓の機能評価			
	アルブミン	肝臓・腎臓の機能、栄養状態などの健康状態を評価		●	
	総ビリルビン	肝臓や胆道系の機能評価		●	
	LDH	肝機能や胆道疾患を評価		●	
	HBs抗原	B型肝炎ウイルスの感染の有無			
	HCV抗体	C型肝炎ウイルスの感染の有無			
膵機能検査	血清アミラーゼ	膵臓や唾液腺の異常の有無		●	
尿酸	尿酸	痛風や腎臓結石などの早期発見	●	●	●
糖代謝	空腹時血糖	糖尿病その他の代謝異常の早期発見	●	●	●
	尿糖	糖尿病のリスク評価	●	●	●
	HbA1c	糖尿病のリスク評価			
	TPHA	梅毒の感染の有無			
血清学検査	RPR	梅毒の感染の有無			
	CRP	感染症や炎症性疾患の早期発見			
	胸部X線(直接)	肺がん、肺炎、肺結核などの肺疾患の早期発見	●	●	●
X線検査	胃部X線(直接)	胃がんの早期発見	●	●	
	MRI	脳卒中のリスク評価			
頭部検査	MRA	脳動脈瘤、動脈硬化のリスク評価			
	超音波検査	腹部(肝・胆・膵・腎・脾臓等)		●	
動脈硬化検査	頸部血管エコー	動脈硬化のリスク評価			
	血圧脈波検査	動脈硬化のリスク評価			
心電図検査	12誘導	不整脈、虚血性心疾患などの心疾患の早期発見	●	●	●
自己負担額(円)			5,500	8,280	2,730

備考 1 この表に掲げる金額は、消費税及び地方消費税相当額を含みます。  
 2 網掛部分は、労働安全衛生規則(昭和47年労働省令第37号)において定められている法定項目です。  
 3 「胃部X線(直接)」は「胃内視鏡」に代えることができます(差額料金4,200円増)。  
 4 各基本コースに追加することができるオプション項目については、別紙「オプション項目一覧表」を御覧ください。